

平成24年3/17ダイヤ改正について 59項目の問題点を申し入れ

引き上げ線運転時分延長の要求実現をバネにして、
さらなる成果と労働条件の向上を目指そう!

私たちは、3月17日ダイヤ改正の乗務員行路・交番について解明、改善要求として59項目を関西地本を通じて1月27日、会社に申し入れました。まだまだ多くの問題点は存在しますが大阪第一運輸所との共通の問題点を含み、細かい部分を数えれば71項目に及び乗務員にとっては職場の労働条件に密接に関係する項目に絞りました。申し入れに際して、出来る限り組合員の皆さんの声を反映しました。ご協力に感謝いたします。

主な項目（基本要素、行路・交番作成、行路・交番、職場改善要求、その他）の中でも、休日や労働時間の問題はまだまだ「サービス労働」の問題点が残っています。

行路・交番では、折り返し段落ち時間僅少の問題点、食事時間の問題が多く含んでいます。職場改善要求では、乗泊、詰所の設備の問題があります。その他の項目として、添乗時（私服）の問題、見にくい停止位置目標の標識のLED化。新大阪～引き上げ線での添乗と安全問題が主な項目です。

ユニオン役員は、組合員の声を聞いて 問題点の改善要求をしてくれましたか？！

他方、ユニオン役員は、ダイヤ改正の行路を掲示板に貼りだしてはいるものの、組合員の声を聞いているのでしょうか。山積する職場の問題点を改善するために労働組合は存在します。現在、ユニオン役員の職場での行動は、QCや業務研究、スキルアップに組合員を参加させ、会社が要求する社員像「モノを言わない社員」づくりへの協力を推進している姿です。

異常時と称して車掌を二人で乗務させたり、3泊4日の乗務を強要したりと職場の乗務員は心身共にストレス・疲労がたまっています。

皆さん！行路・交番で問題点があれば、東海労の組合員・役員へ連絡ください。一緒に改善しましょう。